

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年5月1日

【発行者名】 FPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニー
(FPT Fund Management Joint Stock Company)

【代表者の役職氏名】 取締役会長 元久 存
(Megumu Motohisa, Chairman of Board of Directors)

【本店の所在の場所】 ベトナム、ハノイ、カウ・ギアイ・ディストリクト、ディッチ・ヴォン・ハウ・ワード、デュイ・タン・ストリート、ライト・アンド・スモール・スケール・インダストリアル・エリア、ロットB1A、TTCビルディング8階
(Floor 8, TTC Building, Lot B1A, Light and small scale industrial area, Duy Tan Street, Dich Vong Hau Ward, Cau Giay District, Ha Noi, Vietnam)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 島崎 文彰

【代理人の住所又は所在地】 東京都文京区後楽二丁目3番27号 テラル後楽ビル2階
島崎法律事務所

【事務連絡者氏名】 弁護士 島崎 文彰

【連絡場所】 東京都文京区後楽二丁目3番27号 テラル後楽ビル2階
島崎法律事務所

【電話番号】 03(5802)5860

【届出の対象とした募集（売出）外国投資信託受益証券に係るファンドの名称】
ニュース FPT キャピタル トラスト ベトナム バランス ファンド
(New-S FPT Capital Trust Vietnam Balanced Fund)

【届出の対象とした募集（売出）外国投資信託受益証券の金額】
上限見込額は、3億米ドル（24,039百万円）
(注) 米ドルの円貨換算額は、平成24年5月14日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル=80.13円）による。

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

(注)

1. 別段の記載がある場合を除き、本書に記載の「発行者」または「管理会社」とは、2007年7月25日にベトナムの法律のもとで株式会社として設立されたFPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーをいう。2013年5月1日付で、管理会社はフィナンサ・ファンド・マネジメント・リミテッドからFPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーに変更された。またファンドの愛称として「アオザイ」という名称を用いることがある。
2. ファンドの受益証券は、米ドル建てのため以下の金額表示は別段の記載のない限り米ドル貨をもって行う。
3. 本書に記載の「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「ドン」はベトナムドンを指す。本書において便宜上、一定の米ドル金額は2013年4月2日の株式会社三菱東京UFJ銀行が建値した対顧客電信直物売買相場の仲値である1米ドル=93.13円により円に換算されている。ドンの対米ドルレートは、2013年4月2日現在のベトナム国家銀行が建値した1米ドル=約20,828ベトナムドンである。
4. 管理会社の事業年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日をもって終了する1年間である。
5. 本書中の表において計数を四捨五入している場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成25年5月1日付で管理会社に変更されたため、平成24年6月14日付で提出した有価証券届出書（平成24年6月26日付および同年9月28日付および平成25年4月24日付の有価証券届出書の訂正届出書により訂正済）（以下「原届出書」という。）に訂正および更新すべき事項が生じたため、本訂正届出書により、関連事項を訂正するものである。

なお、本訂正届出書の記載事項のうち外貨金額の円換算額は、前記注3の記載のとおり最近の為替相場を参照して換算されており、この換算レートは原届出書で用いられた換算レートと異なることに注意されたい。

2 【訂正の内容】

訂正および更新を要する箇所および訂正および更新した箇所には下線を引いて示している。

第一部証券情報

(1) ファンドの名称

<訂正前>

ニュース フィナンサ トラスト ベトナム バランス ファンド (New-S Finansa Trust Vietnam Balanced Fund) (以下「ファンド」という。)

(注) ファンドは、アンブレラ・ファンドであるニュース フィナンサ トラスト (以下「トラスト」という。) のシリーズ・トラスト (以下「シリーズ・トラスト」という。) である。本書提出日現在、トラストは、ただ1つのサブ・ファンド (シリーズ・トラスト) であるファンドのみにより構成されている。なお、アンブレラとは、1つの投資信託を傘と見立て、その傘の下で1または複数の投資信託 (サブ・ファンド) を設定できる仕組みのものを指す。また、ファンドの愛称として「アオザイ」という名称を用いることがある。

(中略)

(12) その他

(1) 申込証拠金はない。

(2) 引受等の概要

() ニュース証券は、管理会社との間で、日本におけるファンド証券の販売および買戻しに関する平成20年9月11日付契約 (その後の改正を含む) に基づき、日本においてファンド証券の募集を行う。

(後略)

<訂正後>

ニュース FPT キャピタル トラスト ベトナム バランス ファンド (New-S FPT Capital Trust Vietnam Balanced Fund) (以下「ファンド」という。)

(注) ファンドは、アンブレラ・ファンドであるニュース FPT キャピタル トラスト (以下「トラスト」という。) のシリーズ・トラスト (以下「シリーズ・トラスト」という。) である。本書提出日現在、トラストは、ただ1つのサブ・ファンド (シリーズ・トラスト) であるファンドのみにより構成されている。なお、アンブレラとは、1つの投資信託を傘と見立て、その傘の下で1または複数の投資信託 (サブ・ファンド) を設定できる仕組みのものを指す。また、ファンドの愛称として「アオザイ」という名称を用いることがある。

(中略)

(12) その他

(1) 申込証拠金はない。

(2) 引受等の概要

() ニュース証券は、管理会社との間で、日本におけるファンド証券の販売および買戻しに関する平成25年5月1日付契約に基づき、日本においてファンド証券の募集を行う。

(後略)

第二部ファンド情報

第1ファンドの状況

1 ファンドの性格

(1) ファンドの目的及び基本的性格

a. ファンドの目的、信託金の限度額

<訂正前>

ニュース フィナンサ トラスト ベトナム バランス ファンドの投資目的は、下記に掲げる投資により、ファンド資産の成長を目指すことである。

(中略)

b. ファンドの基本的性格

ファンドは、2008年9月11日付でメープルズエフエス・リミテッド（以下「受託会社」という。）と管理会社との間で締結された信託証書（その後の改正を含む。）（以下「信託証書」という。）の条項に従いケイマン諸島の法律に基づき設定されたオープン・エンド型アンブレラ・ユニット・トラストである。管理会社は、信託証書の規定に従い受託会社に代わってファンド証券を発行し、発行済みのファンド証券は買戻しの請求により一定の条件のもとに買戻される。

(中略)

(2) ファンドの沿革

1994年5月25日 管理会社設立
2008年9月11日 信託証書締結
2008年9月18日 補遺信託証書締結
2008年10月30日 補遺信託証書締結
2008年10月30日 ファンドの運用開始

(後略)

<訂正後>

ニュース FPT キャピタル トラスト ベトナム バランス ファンドの投資目的は、下記に掲げる投資により、ファンド資産の成長を目指すことである。

(中略)

b. ファンドの基本的性格

ファンドは、2008年9月11日付でメープルズエフエス・リミテッド（以下「受託会社」という。）と管理会社との間で締結された信託証書（その後の改正を含む。）および2013年4月22日付の補遺信託証書（2013年5月1日付で効力が発生する。）（以下「信託証書」という。）の条項に従いケイマン諸島の法律に基づき設定されたオープン・エンド型アンブレラ・ユニット・トラストである。管理会社は、信託証書の規定に従い受託会社に代わってファンド証券を発行し、発行済みのファンド証券は買戻しの請求により一定の条件のもとに買戻される。

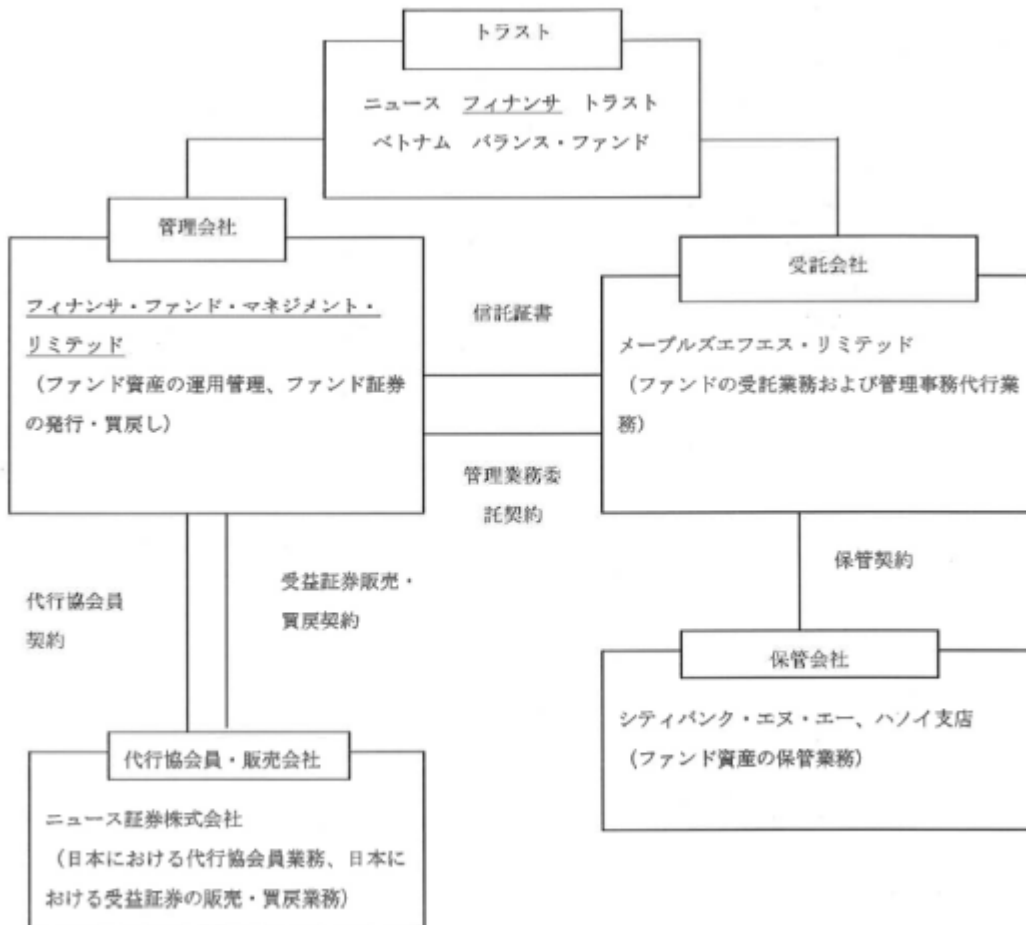
(中略)

(2) ファンドの沿革

1994年5月25日 管理会社設立
2008年9月11日 信託証書締結
2008年9月18日 補遺信託証書締結
2008年10月30日 補遺信託証書締結
2008年10月30日 ファンドの運用開始
2013年5月1日 管理会社の変更、トラストおよびファンドの名称変更

(後略)

(3)ファンドの仕組み
ファンドに関するスキーム



管理会社とファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割および契約等の概要

名称	ファンドの 運営上の役割	契約等の概要
フィナンサ・ファンド・マネジメント・リミテッド (Finansa Fund Management Ltd.)	管理会社	2008年9月11日付で信託証書（その後の改正を含む。）を受託会社と締結。ファンド資産の運用・管理、ファンド証券の発行・買戻業務を提供する。
メープルズエフエス・リミテッド (MaplesFS Limited)	受託会社	2008年9月11日付で信託証書（その後の改正を含む。）を管理会社と締結。ファンド資産の管理・保管業務を提供する。2008年9月15日付で管理会社と管理業務委託契約（注1）を締結。
シティバンク・エヌ・エー、ハノイ支店 (Citibank N.A., Hanoi Branch)	保管会社	2008年10月16日付の保管契約（注2）に従いファンド資産のベトナムでの保管業務を提供する。
ニュース証券株式会社	代行協会員 販売会社	2008年9月11日付で管理会社との間で代行協会員契約（その後の改正を含む。）（注3）を締結。代行協会員業務を提供する。 2008年9月11日付で管理会社との間で受益証券販売・買戻契約（その後の改正を含む。）（注4）を締結。 受益証券の販売・買戻業務を提供する。

（注1）管理業務委託契約（2008年9月15日付）により、信託証書の規定に基づいて管理会社が職務を行うべき一定の管理業務、すなわち受益者名簿の管理、受益証券の発行および買戻し等、純資産価格および受益証券1口当りの価格の決定、各シリーズ・トラストの帳簿類の管理、管理会社に対して支払われる管理・成功報酬の計算その他の業務をメープルズエフエス・リミテッドに委託している。

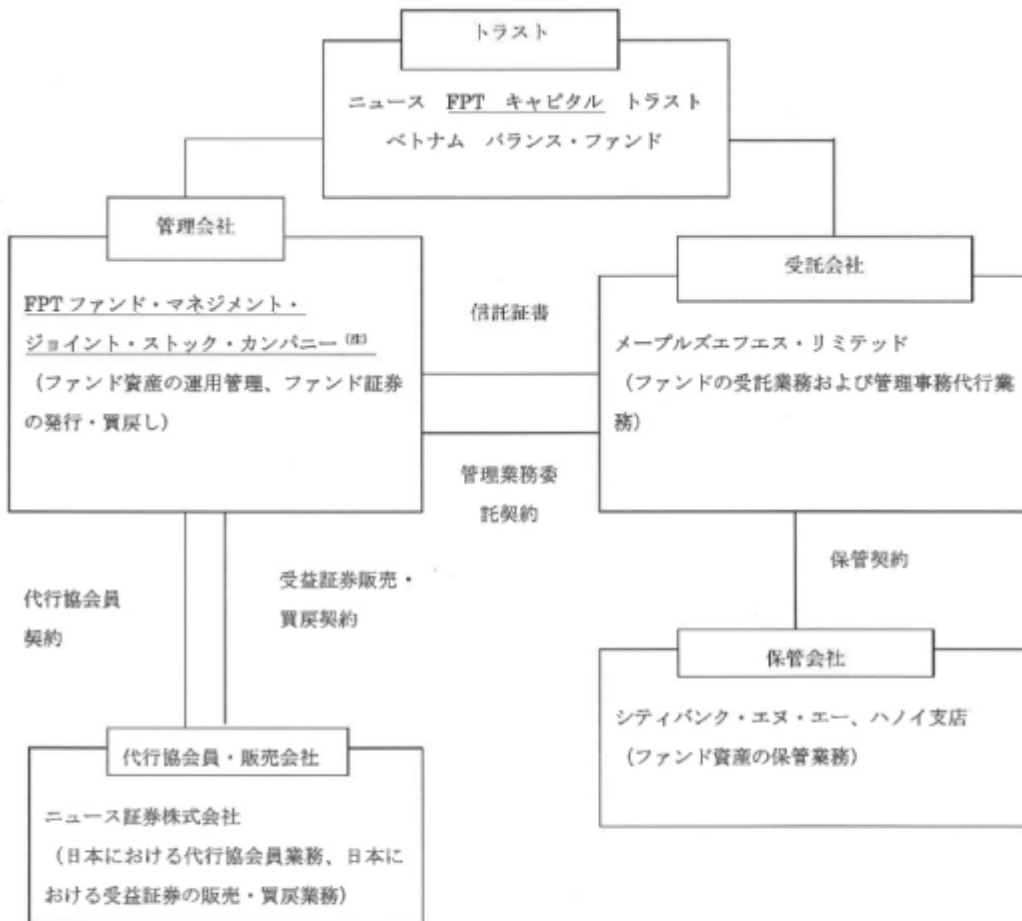
（中略）

管理会社の概況

管理会社	フィナンサ・ファンド・マネジメント・リミテッド (Finansa Fund Management Ltd.)		
設立準拠法	管理会社は、ケイマン諸島の会社法に基づき、ケイマン諸島で1994年に有限責任会社として設立された。		
事業の目的	管理会社の事業の目的には、定款に規定される以外の制限はなく、外国投資信託の管理会社として行為することを含む。		
資本金の額	2013年2月28日現在、管理会社の授權資本金は200,000米ドル（19,234千円）（1株の額面金額1米ドルの普通株式200,000株）で払込資本金は20,000米ドル（1,923千円）（1株の額面金額1米ドルの普通株式20,000株）である。2012年12月31日現在の連結純資産額（無監査）は295,896米ドル（28,456千円）である。		
沿革	1994年5月25日に設立された。		
大株主の状況			
氏名又は名称	住所	所有株式数	発行済株式数に対する所有株式数の比率
フィナンサ・パブリック・カンパニー・リミテッド（以下「フィナンサ」という。）	タイ、バンコク10500、ノース・サトーン・ロード48、14階、ティスコ・タワー (TISCO Tower, 14/F 48 North Sathorn Road, Bangkok 10500, Thailand)	20,000株	100%

(後略)

< 訂正後 >



〔注〕2013年4月22日付で、受託会社、旧管理会社であるフィナンサ・ファンド・マネジメント・リミテッド（以下「旧管理会社」という。）および新管理会社であるFPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニー（以下「新管理会社」という。）の間で辞任および任命証券が締結され、同年5月1日付でその効力が生じた。よって、かかる辞任および任命証券の締結に基づき、旧管理会社はファンドの管理会社を辞任し、新管理会社がファンドの管理会社に任命され、信託証券に基づく旧管理会社の債権債務を承継した。

管理会社とファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割および契約等の概要

名称	ファンドの運営上の役割	契約等の概要
FPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニー (FPT Fund Management Joint Stock Company)	管理会社	2008年9月11日付で信託証書（その後の改正を含む。）および2013年4月22日付の補遺信託証書（その効力発生を同年5月1日とする。）を受託会社と締結。ファンド資産の運用・管理、ファンド証券の発行・買戻業務を提供する。
メープルズエフエス・リミテッド (MaplesFS Limited)	受託会社	2008年9月11日付で信託証書（その後の改正を含む。）および2013年4月22日付の補遺信託証書（その効力発生を同年5月1日とする。）を管理会社と締結。ファンド資産の管理・保管業務を提供する。2008年9月15日付で管理会社と管理業務委託契約（その後の改正を含む。）および2013年4月22日付の任命証書および管理業務委託契約の更改契約（注1）を締結。
シティバンク・エヌ・エー、ハノイ支店 (Citibank N.A., Hanoi Branch)	保管会社	2008年10月16日付の保管契約（注2）に従いファンド資産のベトナムでの保管業務を提供する。
ニュース証券株式会社	代行協会員 販売会社	2013年5月1日付で管理会社との間で代行協会員契約（注3）を締結。代行協会員業務を提供する。 2013年5月1日付で管理会社との間で受益証券販売・買戻契約（注4）を締結。 受益証券の販売・買戻業務を提供する。

（注1）2008年9月15日付の管理業務委託契約（その後の改正を含む。）および2013年4月22日付の任命証書および管理業務委託契約の更改契約により、信託証書の規定に基づいて管理会社が職務を行うべき一定の管理業務、すなわち受益者名簿の管理、受益証券の発行および買戻し等、純資産価格および受益証券1口当りの価格の決定、各シリーズ・トラストの帳簿類の管理、管理会社に対して支払われる管理・成功報酬の計算その他の業務をメープルズエフエス・リミテッドに委託している。

（中略）

管理会社の概況

管理会社	FPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニー (FPT Fund Management Joint Stock Company)		
設立準拠法	管理会社は、ベトナムの法律に基づき、ベトナムで2007年に株式会社として設立された。		
事業の目的	管理会社の事業の目的には、証券投資ファンドおよび証券投資ポートフォリオの運用、ベトナムへの投資を目的とする外国投資ファンドの募集および運用、証券投資顧問業および法律により許可されるその他専門家による事業活動を含む。		
資本金の額	2013年3月31日現在、管理会社の資本金は110十億ベトナムドン（491,852,312円） ^(注1) （1株の額面金額10,000ベトナムドンの普通株式11百万株）である。		
沿革	2007年7月25日に設立された。		
大株主の状況			
氏名又は名称	住所	所有株式数	発行済株式数に対する所有株式数の比率
SBIヴェン・ホールディングス・ピーティーイー・リミテッド	シンガポール049910、ストレイツ・トレーディング・ビルディング#15-01、バッテリー・ロード9 (9 Battery Road #15-01 Straits Trading Building Singapore 049910)	5,390,000株	49%
FPTコーポレーション（コンティ コファン ファッチエン グウトウ コンゲ）	ベトナム、ハノイ、カウ・ギアイ・ディストリクト、ファム・ハン・ロード、デュイ・タン・ストリート、FPTカウ・ギアイ・ビルディング (FPT Cau Giay Building Duy Tan Street, Pham Hung Road, Cau Giay District, Hanoi, Vietnam)	2,750,000株	25%
ングエン ズイ キエン	ベトナム、ハノイ、バディン、グエン・タイ・ホック108 (108 Nguyen Thai Hoc, Ba Dinh, Hanoi, Vietnam)	1,089,000株	9.9%
	-		

(注1) 約5,281,352米ドルに相当する。

(後略)

2 投資方針

(3)運用体制

(i) 運用体制

<訂正前>

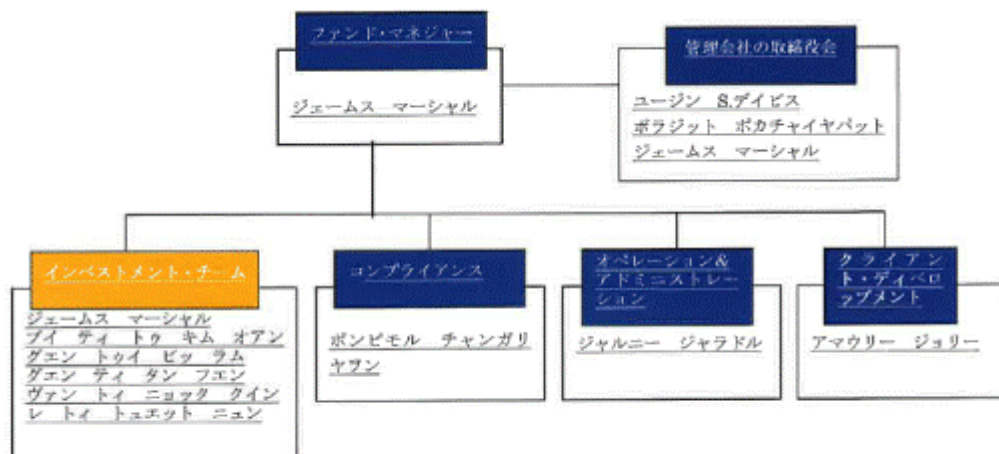
管理会社は、ファンドの目的達成のための予め定められた投資戦略に基づいて、投資判断を行い、実行する。

管理会社であるフィナンサ・ファンド・マネジメント・リミテッドは、フィナンサ・パブリック・リミテッド・カンパニー(以下「フィナンサ」という。)の100%子会社である。フィナンサは1991年にタイのバンコクに設立された金融サービス・グループであり、2002年にタイ証券取引所に上場されている。主なグループ会社は、管理会社のフィナンサ・ファンド・マネジメント (Finansa Fund Management Ltd.)、フィナンサ・アセット・マネジメント・リミテッド (Finansa Asset Management Ltd.)、フィナンサ・セキュリティーズ・リミテッド (Finansa Securities Ltd.) である。これらのグループ会社は、東南アジア地域内で運用業務・投資銀行業務を行っている。グループ会社は、ファンド・マネジメント活動を支援するためにベトナムのハノイおよびホーチミンに駐在員事務所を維持する。フィナンサおよびその子会社(以下「フィナンサ・グループ」という。)の資産は約1,138百万米ドル(2012年12月末現在)である。

管理会社は、ファンドの投資戦略に沿った投資戦略・投資判断の立案・実行を行う。管理会社のファンドマネジャー、シニア・インベストメント・マネジャー、アナリストは各自の職務においてその責任を負う。

(中略)

(iii) 運用担当者



運用担当者は管理会社によって任命され、下記のメンバーで構成されている。運用担当者のうち、ジェームス・マーシャル氏、ブイ ティ トゥ キム オアン氏、グエン トゥイ ビツ ラム氏、グエン ティ タン フェン氏、ヴァン トイ ニョック クイン氏およびレ トイ トュエット ニュン氏の6名が上記の運用担当者組織図に記載するインベストメント・チームを構成している。

運用担当者は管理会社のために投資を特定、分析および推薦し、バンコクにある管理会社本部の他の専門家からサポートを受ける。

ジェームス マーシャル (James Marshall)、フィナンサの最高投資責任者

同氏はファンドのファンドマネジャーであるとともに、フィナンサ・グループのチーフ・インベストメント・オフィサーである。1999年のフィナンサ・グループ勤務以後、タイ直接投資ファンドのサイアム・インベストメント・ファンド (Siam Investment Fund)、ベトナム・フロンティア ファンド (Vietnam Frontier Fund) とベトナム・エクイティ ファンド (Vietnam Equity Fund) などのオフショアファンドの運用に従事。以前は、インドのムンバイにある野村インターナショナルとムンバイのインド・ユニット・トラスト社 (Unit Trust of India) との合併会社で調査部長を務めた。また、タイ、バンコクのキャピタル野村証券 (Capital Nomura Securities) の調査部長として勤務。同氏はイギリス国籍を有し、バンコクに在住。

ブイ ティ トゥ キム オアン (Bui Thi Kim Oanh)、シニア・インベストメント・オフィサー、フィナンサ ハノイ事務所

同氏はタイのAIT (Asia Institute of Technology) を卒業後、1994年からフィナンサ・グループ勤務。それ以前は、ハノイのベトナム保険会社 (Vietnam Insurance) に勤務。1982年にベルリンのハンボルト大学を卒業。同氏はベトナム国籍。

グエン トゥイ ビツ ラム (Nguyen Thuy Bich Lam)、アナリスト、フィナンサ ホーチミン事務所

同氏は2002年にホーチミン市経済大学 (Ho Chi Minh City University of Economics) を卒業し、ファイナンスの学士号を取得した。同氏は、2002年から2004年まで現地の監査法人であるU&Iオーディティング (U&I Auditing) で監査人として勤務。同氏は2004年9月以降、当初は投資アナリストとしてフィナンサに入社した。同氏は、産休後の2011年に再入社した。

グエン ティ タン フェン (Nguyen Thi Thanh Huyen)、アナリスト、フィナンサ ホーチミン事務所

同氏は2005年にホーチミン市経済大学を卒業後、パークソン・ベトナム社 (Parkson Vietnam Co) やゴールドベル・ベトナム社 (Goldbell Vietnam Co) に会計担当者として勤務。2008年9月からフィナンサ・グループにアナリストとして勤務。

ヴァン トイ ニョック クイン (Van Thi Ngoc Quynh)、リサーチ・アシスタント、フィナンサ ホーチミン事務所

同氏はダナンの会計学校を1989年に卒業後、1989年から1997年までCICCカナダ駐在員事務所に会計担当として勤務。その後、A&Bインテリア会社、1999年から2008年まで、コム・ニューレストランに会計担当として勤務。

務、2008年からフィナンサ・グループに調査アシスタントとして勤務、ベトナム国籍。

レ ト イ ト ユ エ ッ ト ニ ュ ン (Le Thi Tuyet Nhung)、アシスタント、フィナンサ ハノイ事務所

同氏は1984年ハノイの外国語大学を卒業後、通訳業に従事。その後、ボン・ミュー鉱山会社(Bong Mieu Mining Company)へ勤務。その後、1994年からフィナンサ ハノイ事務所でおフィス・マネジャーとして勤務、ベトナム国籍。

ジャルニー ジャラドル (Jarunee Joradol)、フィナンサのアシスタント・ファイナンス・オペレーション・マネジャー

同氏はトリコール・アウトソーシング・ソリューションズ(タイランド)社(Tricor Outsourcing Solutions (Thailand))でシニア・コンサルタントとして、また、プライスウォーターハウスクーパーズ・リーガル&タックス・コンサルタント社(Pricewaterhouse Coopers Legal & Tax Consultants)に勤務後、フィナンサ・グループへ入社、会計専門家協会のメンバー、タイ国籍を有し、バンコク在住。

ポーンピモル チャンガリヤウォン (Pornpimol Changariyawong)、フィナンサのコンプライアンス、アシスタント・バイスプレジデント

同氏は2011年5月1日にフィナンサ・アセット・マネジement・リミテッドに入社した。同氏は、10年以上ファンド・マネジement・コンプライアンスに従事してきた。同氏は、2007年5月から2009年2月まで、アユドゥヤ・ファンド・マネジement(Ayudhya Fund Management)のコンプライアンス部門のアシスタント・バイスプレジデントを務めた。2005年8月から2007年2月まで、アバディーン・アセット・マネジement・カンパニー・リミテッド(Aberdeen Asset Management Company Limited)のリーガル・アンド・コンプライアンス・アシスタントを務めた。2000年から2005年7月まで、BNPパリバ・ペレグリン・セキュリテーズ(タイ)リミテッド(BNP Paribas Peregrine Securities (Thailand) Ltd.)のコンプライアンス部門のアシスタント・マネージャーであった。

アマウリー ジョリー (Maury Joulie)、フィナンサの副社長

同氏はフィナンサに入社する以前、ヘッジ・ファンド業界で最も有名なアダックス・アセット・マネジement(Addax Asset Management)(パリに拠点を置く独立系ファンド・オブ・ヘッジファンズ)で6年以上の間ヘッジファンド・アナリストを務めた。同氏はヘッジ・ファンドの選択に専念するチームの一員で、そこで同氏は将来のマネジャーのスクリーニング方法およびデュー・ディリジェンス・プロセスを担当し、また多くのマルチマネジャーファンドの開発プロジェクトに参加した。同氏はフランスのESCEのファイナンス学部を2002年に卒業し、ESCリールのファイナンス・アンド・ウェルス・マネジementの金融修士号を2003年に取得している。同氏はフランス語、英語、スペイン語に堪能であり、アラビア語もよく知っている。同氏はフランス国籍を有し、バンコクに居住している。

<訂正後>

管理会社であるFPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーは、ファンドの目的達成のための予め定められた投資戦略に基づいて、投資判断を行い、実行する。

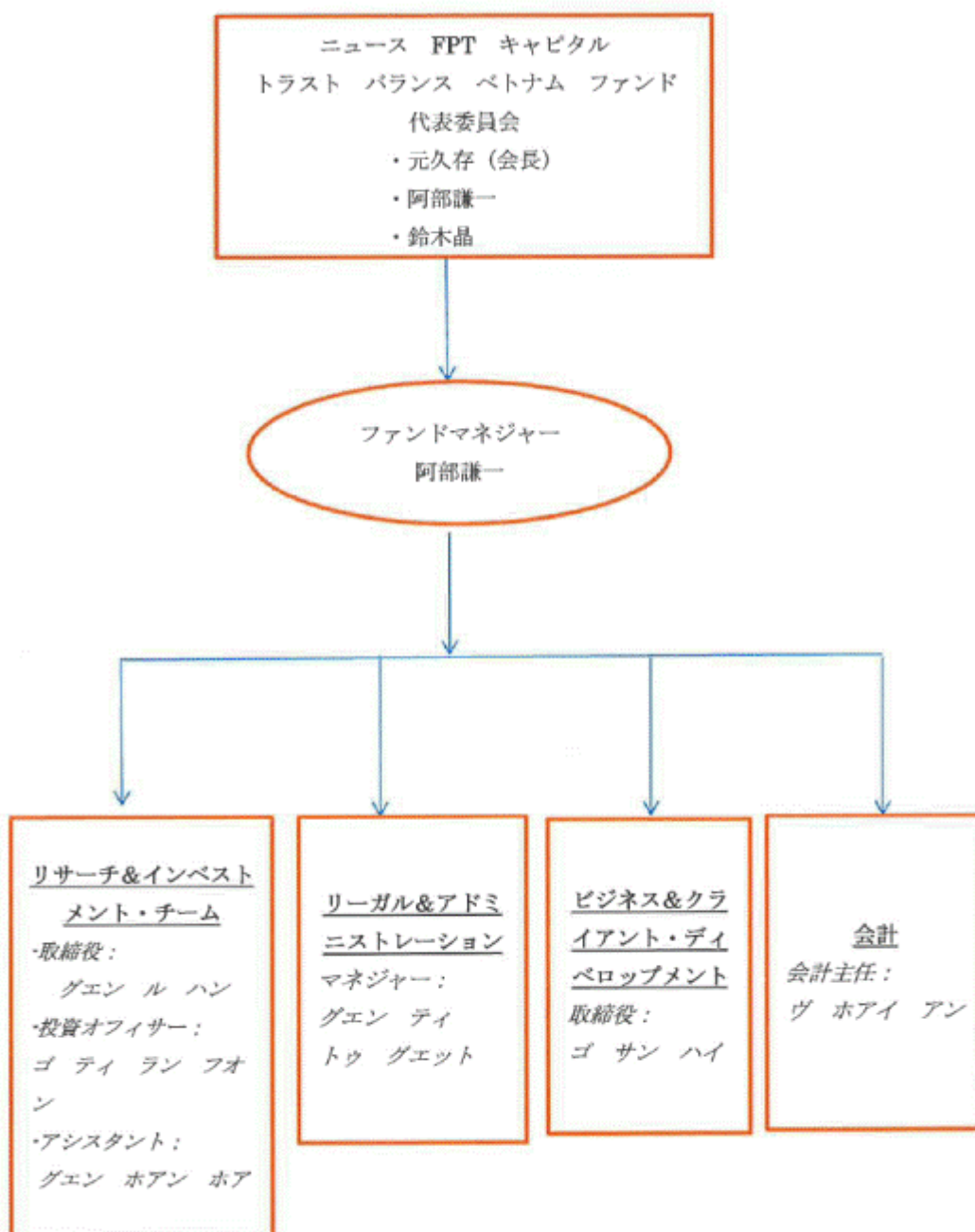
SBIヴェン・ホールディングス・ピーティーイー・リミテッド（日本のSBIグループの100%子会社である。）は管理会社の発行済資本金の49%を、FPTコーポレーション（コンティ コファン ファッチエン グウトゥ コンゲ）は管理会社の発行済資本金の25%を保有している。SBIグループは管理会社のファンド・マネジメント活動を支援するためにベトナムのハノイで駐在員事務所を維持している。同時に、FPTコーポレーションの主な投資グループ会社は、FPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニー、ティエン・フォン・バンク、FPTセキュリティーズおよびFPTランドである。これらのグループ会社は、ベトナムで金融業務を行っている。

2012年12月31日現在、管理会社はMZカンパニー・リミテッド、CFカンパニー・リミテッド、FCインベストメント・カンパニー・リミテッドおよびFFインベストメント・ジョイント・ストック・カンパニーを含む（直接または間接的に）完全所有する子会社4社を保有する。これら子会社4社の主な事業は、証券取引、コンサルタント業務および鉱業である。

管理会社は、ファンドの投資戦略に沿った投資戦略・投資判断の立案・実行を行う。管理会社のファンドマネジャーおよび投資オフィサーは各自の職務においてその責任を負う。

（中略）

(iii) 運用担当者



運用担当者はファンドマネジャーによって任命され、下記のメンバーで構成されている。運用担当者のうち、グエン ル ハン女史、ゴ ティ ラン フオン女史およびグエン ホアン ホア女史の3名が上記の運用担当者組織図に記載するリサーチ&インベストメント・チームを構成している。

運用担当者は管理会社のために投資を特定、分析および推薦し、ハノイにある管理会社本部の他の専門家からサポートを受ける。

阿部謙一、ファンドマネジャー

創価大学経済学部で学士号を取得。会計および投資において15年以上の経験を有する。SBIホールディングス株式会社の海外事業部門のマネジャーを務め、現在SBIベトナムの駐在員事務所の所長を務める。日本語を母国語とし、英語およびベトナム語が流暢である。

ゴ サン ハイ (Ngo Thanh Hai)、ビジネス&クライアント・ディベロップメントの取締役

ハイ氏は、金融専門家で豊富な経験と経営能力を有している。SBIホールディングス株式会社およびFPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーに入社する以前は、ベトナムの大手金融機関でアナリスト、ブローカーおよび顧問を歴任し、日本法人の投資家向けの数少ないキャピタル・ファンドの1つであるロータスIMCファンド (LotusIMC Fund) で投資関係マネジャーを務めた。同氏はアメリカのコロンビアサザン大学の経営学部で修士号を取得する以前、日本に2年間留学し、経済学と日本学を優秀な成績

で卒業した。ベトナム語を母国語とし、英語および日本語が流暢である。

グエン ル ハン (Nguyen Le Hang)、リサーチ & インベストメント部門の取締役

アメリカ、オハイオ州立大学フィッシャー・カレッジ・オブ・ビジネスのメリット・スカラーシップでMBAを取得。ベトナムの国民経済大学のファイナンス・バンキング学部で証券アナリストを専攻し文学士号を取得。ベトナム市場でSBIの投資を担当すると同時にティエンフォンバンク（Tienphongbank）の管理委員会のメンバーを務める。2007年から2008年までベトナム・パートナーズLLCの投資バンキング・アナリストを、2005年から2007年まで国家証券監督委員会（以下「SSC」という。）で業務執行役員を務めた。強いリーダーシップ、チームワークおよび管理能力を有する。ファイナンス、バンキングおよび投資において貴重な経験と知識を有する。政府官僚と幅広いネットワークを有する。ベトナム語を母国語とし、英語が流暢である。

ゴ ティ ラン フォン (Ngo Thi Lan Huong)、リサーチ & インベストメント部門の投資オフィサー

ハノイ貿易大学の英語学部および経営学部の学位を取得。東京三菱UFJ銀行（ハノイ支店）の国際オペレーション部門の銀行員、ヴィナ・セキュリティーズJSCのトレーダー、SSCの株式投資分析ライセンスを取得。CFAレベル2取得。ベトナム語を母国語とし、英語が流暢である。

グエン ホアン ホア (Nguyen Hoang Hoa)、リサーチ & インベストメント部門のアシスタント

ロンドン大学の東洋アフリカ研究所において日本語学および経済学の学位を取得し、経済、経営および会計において深い知識を有している。ベトナム語を母国語とし、英語および日本語（日本語能力試験N1）が流暢である。

ヴ ホアイ アン (Vu Hoai Anh)、会計の主任会計

国民経済大学（ハノイ）の商学部の学位を取得。中央スポーツ大学のチェス学部の学位を取得。SSC認定のファンド・マネジメントの専門家であり、主任会計のライセンスを持っている。会計およびオフィス・マネジメントにおいて18年間の経験を有する。2008年から現在まで、FPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーの主任会計を務めている。ベトナム語を母国語としている。

グエン ティ トゥ グエット (Nguyen Thi Thu Nguyet)、リーガル & アドミニストレーション部門のマネジャー

ハノイの国家大学で国際法の修士号を取得。ハノイ法科大学経済法の文学士号を取得。司法アカデミーで弁護士資格を取得。SSCのファンド・マネジメントの資格を取得した。日本にある名古屋大学の学長から交換留学プログラムの終了証書を取得。ヴィジョン・アンド・アソシエーツ・リーガルで顧問弁護士を務め、ヤフー、ANZ、トヨタ、韓国外換銀行、エイボンおよびイントラなどの数多くの国際的な法人に対して、投資および事業活動の助言に携わった。ベトナム語を母国語とし、英語が流暢である。

（後略）

3 投資リスク

（１） リスク要因

<訂正前>

（前略）

ファンドの未上場投資の流動性欠如

ファンドは、投資時において未上場のいくつかの会社に投資するため、公開取引されている有価証券への投資の場合に比較してこれらのポジションを解消するのに時間がかかることがある。未上場株式の取引市場においては流動性がより予測できないことがまた、財務報告目的のかかる有価証券の評価および純資産価格の計算の手続きに影響を与えることがある。さらに、その有価証券が公開取引されていない会社は、有価証券が公開取引されている公開企業に適用される開示および投資者保護要件に服しない。

（中略）

利益相反

管理会社は、ファンドのために行う投資の決定において様々な利益相反の状況に置かれる。

ファンドは、管理会社およびその関係会社に関わるいくつかの実際または潜在的な利益相反に服し、または服することがある。フィナンサおよびその関係会社は金融顧問業務を含む広範囲にわたる事業に従事しており、ファンドの投資活動から独立した、その時々に関係会社の利益と相反することのある広範囲な投資活動を行っている。そこで、フィナンサまたはその関係会社の利益と、ファンドの利益とが相反する事例が生じることがある。フィナンサまたはその関係会社のいずれかが、ファンドが投資するまたは投資する可能性がある会社との取引に従事し、またこれらの会社に役務を提供することがある。

成功報酬の存在は、かかるパフォーマンス・ベースの報酬がない場合よりも、管理会社に対してファンドにより投機的な投資を推薦するインセンティブを生じさせることがある。

（中略）

<リスク管理体制>

ファンドに関連するリスクは、シニア・インベストメント・マネジャーおよびファンドマネジャーがモニターしている。シニア・インベストメント・マネジャーは日常的なリスク・モニタリングを行い、ファンドマネジャーはリスク全般に責任を有している。

（後略）

<訂正後>

（前略）

ファンドの未上場投資の流動性欠如

ファンドは、投資時において未上場会社に投資することができるため、公開取引されている有価証券への投資の場合に比較してこれらのポジションを解消するのに時間がかかることがある。未上場株式の取引市場においては流動性がより予測できないことがまた、財務報告目的のかかる有価証券の評価および純資産価格の計算の手続きに影響を与えることがある。さらに、その有価証券が公開取引されていない会社は、有価証券が公開取引されている公開企業に適用される開示および投資者保護要件に服しない。

（中略）

利益相反

管理会社は、ファンドのために行う投資の決定において様々な利益相反の状況に置かれる。

ファンドは、管理会社およびその関係会社が関わるいくつかの実際のまた潜在的な利益相反に服し、または服することがある。管理会社およびその関係会社は金融顧問業務を含む広範囲にわたる事業に従事しており、ファンドの投資活動から独立した、その時々に関与するファンドの投資活動の利益と相反することのある広範囲な投資活動を行っている。そこで、管理会社またはその関係会社の利益と、ファンドの利益とが相反する事例が生じることがある。管理会社またはその関係会社のいずれかが、ファンドが投資するまたは投資する可能性がある会社との取引に従事し、またこれらの会社に役務を提供することがある。

成功報酬の存在は、かかるパフォーマンス・ベースの報酬がない場合よりも、管理会社に対してファンドにより投機的な投資を推薦するインセンティブを生じさせることがある。

（中略）

<リスク管理体制>

管理会社はリスクの特定と分析を行い、またリスクによる影響および結果を特定し、リスク予防の方法および措置を決定し、定期的にリスク管理の結果および有効性を評価し、チェックする。

ファンドに関連するリスクは、内部統制部門がモニターし、監督し、最高経営責任者に対して直接報告される。

（後略）

[次へ](#)

第三部特別情報

第1 管理会社の概況

1 管理会社の概況

(1) 資本金の額

< 訂正前 >

2013年2月28日現在、管理会社の資本金の額は200,000米ドル（19,234千円）であり、最近5年間における資本金の額の増減はない。同日現在、管理会社が発行する株式の総数および発行済株式総数はそれぞれ200,000株および20,000株である。

2012年12月31日現在、管理会社およびその子会社の連結株主持分（連結純資産）の額は295,896米ドル（28,456千円）であった。

(2) 会社の機構

管理会社の機構

管理会社の取締役の員数は、定款上1人以上10名以内（代理取締役を除く。）と定められている。ただし、管理会社は随時、普通決議により取締役の員数の制限を変更することができる。取締役は、随時、その中からマネジング・ディレクターを任命し、マネジング・ディレクターに対して取締役が適切と判断する条件と制限により取締役が行使しうる権限のいずれかを付与することができる。

管理会社の現在の取締役は、以下のとおりである。

ユージン S. デイビス

フィナンサ・グループの共同創設者である。同氏は、管理会社のマネジング・ディレクターである。同氏は、以前、チェース・マンハッタン（タイ）（Chase Manhattan (Thailand)）のマネジング・ディレクターであった。その前には、東京のザ・ファースト・ボストン・コープ（The First Boston Corp.）の債券売買のディレクターを務めた。同氏は米国国籍を有している。

ボラシット ポカチャイヤパット

フィナンサ・グループの共同創設者である。同氏は、フィナンサ・パブリック・カンパニー・リミテッドの社長である。同氏は、以前、チェース・マンハッタン（タイ）（Chase Manhattan (Thailand)）においてIPO（新規株式公開）、M&A（企業合併・買収）および民営化の顧問を担当していた。タイ・インベストメント・アンド・セキュリティーズ・コー（TISCO）のリサーチ部門長を務めた。同氏は、タイ国籍を有している。

ジェームス マーシャル

フィナンサ・グループの最高投資役員であり、以前は、インドのムンバイにある野村インターナショナルとムンバイのインド・ユニット・トラスト社（Unit Trust of India）との合併会社でリサーチ長を務めた。また、タイ、バンコクのキャピタル野村証券（Capital Nomura Securities）のリサーチ部門長として勤務。同氏はイギリス国籍を有している。

管理会社の本部はバンコクにあり、ハノイおよびホーチミンにオフィスがある。

(中略)

2 事業の内容及び営業の概況

管理会社の事業の目的には、定款に規定される以外の制限はなく、投資信託の管理会社として行為することを含む。

管理会社はケイマン諸島において1994年に有限責任会社として設立された。同社には10名の専門スタッフおよび8名の支援スタッフがいる。本店はバンコクで、ハノイおよびホーチミン・シティに事務所を設置している。管理会社は、50百万米ドルのクローズド・エンド型ベトナム向け直接投資ファンドで、アイルランド証券取引所に上場しているベトナム・フロンティア・ファンド（10年間の投資期間満了により2004年7月に終了。）、25百万米ドルのクローズド・エンド型タイ向け直接投資ファンドで、ロンドン証券取引所に上場しているサイアム・インベストメント・ファンド（2006年2月22日に清算された。）、55百万米ドルのタイ向けプライベート・エクイティのリミテッド・パートナーシップであるサイアム・インベストメント・ファンド LP、日本以外のアジアのジャンク債市場に注力した300百万米ドルのオープン・エンド型のアジア・デッド・ファンド（管理会社の過半数所有子会社であるが、マネジメント・バイアウトで2007年11月21日に売却された。）およびベトナムに対するプライベート・エクイティ投資を行う15百万ユーロのクローズド・エンド型ファンドであるベトナム・エクイティ・ファンド（2010年2月15日に清算された。）の運用に携わった。管理会社は、現在、2つのオープン・エンド型ファンド（すなわち、3.5百万米ドルのニュース・フィナンサ・トラスト・ベトナム・バランス・ファンドおよび2.2百万米ドルのフィナンサ・ベトナム・ファンド・リミテッド）を運用している。また管理会社はオープン・エンド型ファンドであるCMBIフィナンサ・チャイナ・ベトナム・ファンドを共同運用しており、フィナンサ・ベトナム・ファンドおよびCMBIチャイナ・セクター・フォーカス・ファンドの2つのサブ・ファンドとの間で資産を分配している。現在、このファンドの資産は約4.4百万米ドルである。

管理会社の唯一の株主は、タイの公開会社であり、バンコクに拠点を置き、タイおよび東南アジアにおいて法人向け金融、証券仲介および大口顧客向けファンド運用の分野で総合的な金融サービスを提供している商業銀行グループであるフィナンサ・パブリック・カンパニー・リミテッドである。フィナンサは1991年にデイビス氏およびポカチャイヤパット氏により設立され、株式および債券市場に広く深い経験を有するタイにおける主導的な独立系商業銀行としての地位を確立してきた。フィナンサは2002年9月にタイ証券取引所に上場し、3つの主要な事業子会社および関連会社を有している。事業子会社は、フィナンサ・セキュリティーズ、フィナン

サ・アセット・マネジメントおよび管理会社である。関連会社は、上場証券仲介会社であるフィナンシア・サイラス・セキュリティーズ・リミテッドで、フィナンサは26%の出資比率を有している。さらに、グループはベトナムにおいてファンド運用および投資銀行業務を支援するために同地に事務所を有している。

上記に記述した管理会社に加え、フィナンサ・グループの2つの主要な事業体は以下のとおりである。フィナンサ・セキュリティーズはタイ証券取引委員会より免許を受けた証券会社であり、タイで最も強力かつ活発な投資銀行業者の1つである。フィナンサ・セキュリティーズは株式および債券取引の双方について広範な顧問業務を提供している。

フィナンサ・アセット・マネジメントは、2005年1月にフィナンサが買収したタイ証券取引委員会の免許を受けた積立基金およびミューチュアル・ファンドの運用会社である。フィナンサ・アセット・マネジメントは、約1,000百万米ドルに上るタイに所在する顧客の資産を運用している。

2013年2月末現在、管理会社は以下の4本のファンドの管理・運営を行っている。

設立国	種類	本数	純資産額の合計 (通貨：百万米ドル)
ケイマン諸島	オープン・エンド型契約型投資信託	1	3.5**
ケイマン諸島	オープン・エンド型会社型投資信託	1	2.2
ケイマン諸島	オープン・エンド型会社型投資信託	1	4.4
ケイマン諸島	リミテッド・パートナーシップ*	1	0

*ファンドは、現在清算中である。

**2013年2月末日現在(ファンドは毎週評価される。)

<訂正後>

2013年3月末現在、管理会社の資本金の額は110億ベトナムドン(491,852,312円)であり、最近5年間における資本金の額の増減はない。同日現在、発行済株式総数は11,000,000株である。

(2) 会社の機構

管理会社の機構

管理会社の取締役会のメンバーは、3名以上11名以下とする。ベトナムに永住することを要する取締役会のメンバーの数は3名以上とする。取締役会の任期は5年とする。取締役会のメンバーの任期は5年を越えてはならない。取締役会のメンバーは、再任が可能であり、その任期の回数に制限はない。取締役会のメンバーは、必ずしも当社の株主である必要はない。

管理会社の現在の取締役は、以下のとおりである。

氏名	生年月日	役職	略歴
グエン ヴァン ロック	1972年4月23日	取締役	2012年4月～2013年3月 FPTファンド・マネジメントJSCの取締役会長 2011年3月～2012年4月 FPTハオラック・コー・リミテッドのCEO 2009年8月～2011年2月 FPTテレコムJSCの副CEO 2007年～2009年7月 FPTトレーディングJSCの副CEO 2003年～2006年 FPTグループの金融部門部長 2000年～2003年 FPTグループの金融部門副部長 1993年～1999年 FPTグループの会計士 2008年～2010年 ベトナム国家大学ハノイ校のハノイ・スクール・オブ・ビジネス 1989年～1993年 ベトナム商業大学
元久存	1961年12月17日	取締役会長	2012年3月～現在 SBIホールディングス・インクのハノイ駐在員事務所の主任 2011年11月～2012年3月 SBIホールディングス・インクの顧問 2010年4月～2011年8月 アークの顧問 2008年11月～2009年6月 ユニマツ山丸証券社長

2005年6月～2009年6月
ハンズオンクリエートの社長
2004年5月～2005年6月
武富士のCEO兼社長
1999年4月～2004年5月
松井証券のCOO兼上席マネジング・
ディレクター
1998年4月～1999年3月
住友海上火災保険のマネジャー
1986年4月～1998年3月
山一証券のマネジャー
1995年
米国ワシントン州の公認会計士
1994年
日本証券アナリスト協会の創立委員
1991年
ボストン大学経営学部大学院MBA取
得
1986年
東京大学学位取得

阿部謙一1971年11月12日

代行最高経
 営責任者

2009年10月～現在
SBIホールディングス・インクの海
外事業部門のマネジャー
2008年9月～2009年9月
HIKARI P.E株式会社投資局の取締役
2002年7月～2008年8月
楽天株式会社CEO室投資オフィサー
（楽天証券ホールディングス株式会
社での業務を含む。）
1999年7月～2002年3月
株式会社サイバーエージェントの営
業部の営業担当
1996年4月～1998年7月
西多摩新聞の営業部の営業担当
1996年3月
創価大学経済学部経済学士号取得

グエン ヴィエット ハイ1970年12月3日

取締役

2011年8月～現在
ケナンガ・セキュリティーズ・ベト
ナム（ケナンガ・インターナシヨナ
ル・ベルンハード（マレーシア大手
の独立系投資銀行が49%出資）の取
締役兼代行CEO
2010年6月～現在
アウ・ラック・ SHIPPING・カンパ
ニーの取締役
2009年9月～現在
南部地域において銀行業務を担当す
るノース・アジア・コマーシャル・
バンクの取締役顧問
2008年9月～2009年3月
VSI（リエン・ヴィエット・バンク
に売却された後、リエン・ヴィエッ
ト・セキュリティーズに改名）の取
締役
2007年8月～2009年9月
ベトナムのACBセキュリティーズの
取締役兼CEO
2006年9月～2007年7月
ベトナムのアン・ビン・セキュリ
ティーズの創設者、副会長兼CEO、ベ
トナムのアン・ビン・ファンド・マ
ネジメント・カンパニーのベトナム
創設者、取締役。
2004年～現在
ベトナムのアウ・ラック・キャピタ
ル・グループの会長

2001年～2003年

ベトナム、ハノイのブルデンシャル
・ベトナム・アシオアランス・リミ
テッドの投資マネジャー補佐

1998年～2001年

シティバンク・エヌ・エー・ベトナ
ムのリレーションシップ・マネ
ジャーおよびマネー・マーケット・
ディーラー。

1994年～1996年

インターナショナル・ビバレッジ・
カンパニー(ペプシコーラ・イン
ターナショナルとのジョイント・ベン
チャー)のCEO補佐

1997年～1998年

オーストラリア、メルボルンのス
ウィーンバーン工科大学MBA取得

1989年～1994年

ロシア、モスクワのロシア・アカデ
ミー・オブ・エコノミックスの経済
学部

(中略)

2 事業の内容及び営業の概況

管理会社は、最適な投資ソリューションを顧客に提供するために2007年に設立された。管理会社は現地法人5社の中で最大の資産運用額を有し、14名の従業員を抱えている。資産管理額は約2,784十億ベトナムドン(12,448千円)(2013年3月末現在)であった。管理会社は2015年に資本管理額を七十億ベトナムドン(31,300千円)に増額する予定である。

管理会社はFPTグループのメンバーであり、有数の国際教育機関で上級学位を取得し、大手のグローバル金融機関に在籍していた専門家によって構成され、様々な経験値を有し、深いマーケット知識を有する結束力のチームにより権限を与えられている。FPTグループの支援を受けて、管理会社はあらゆる種類の高度な投資運用提案を顧客に提供することを目標としている。

FPTグループは有力なITおよび電気通信会社であるFPTテレコム、FPTインフォメーション・システム、FPTソフトウェア、FPTトレーディング・グループおよびFPTユニバーシティーおよび大手の投資会社であるFPTファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニー、ティエン・フォン・バンク、FPTセキュリティーズおよびFPTランドから成る。

管理会社はあらゆる長所と利点を用いて、ベトナムにおける投資機会を利用することを追求し、顧客に対して最高の利益をもたらす、最終的に資産運用業における大手金融機関となり、投資家が最も信頼できる機関となること追及している。

管理会社の規律ある投資アプローチは、広範囲な情報網、幅広い業界知識、投資家に対する卓越したサービスおよび競争力を供給する価値創造に基づいている。

管理会社は現在、FPTホールディングスとSBIホールディングス・インクとのジョイント・ベンチャーである100百万米ドルのベトナム・ジャパン・ファンド(以下「VJF」という。)を運用している。VJFはアジアにおいて最も成功を収めているベンチャー・キャピタルの1つである。

2013年3月末現在、管理会社は以下のファンドの管理・運営を行っている。

設立国	種類	本数	純資産額の合計 (通貨：ベトナムドン)
ベトナム	クローズド・エンド型外国投資ファンド	1	993.5十億 (4,442,321千円)

(後略)